

Prevalence of childhood and adolescent atopic
dermatitis in a Japanese population
: comparison with the disease frequency
examined 20 years ago.

出典 Acta Derm Venereol. 1998 Jul; 78(4): 293-294.
(<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/9689299>)

著者 Sugiura H 他

調査地域 滋賀県大津市

調査時期 1994~1996 年

調査対象 5~18 歳

依頼数 5~6 歳 : 994 人
7~9 歳 : 1240 人
10~12 歳 : 1152 人
13~15 歳 : 1670 人
16~18 歳 : 2159 人

診断方法 医師による診断
有症率 5~6 歳 : 24%
7~9 歳 : 19%
10~12 歳 : 15%
13~15 歳 : 14%
16~18 歳 : 11%

調査概要 1994~1996 年に滋賀県大津市の 5~18 歳のアトピー性皮膚炎の有症率を、
健診時の医師の診断に基づいて調査した。5-6 歳 : 24%、7-9 歳 : 19%、
10-12 歳 : 15%、13-15 歳 : 14%、16-18 歳 : 11%であり、年齢が上がるとともに
有症率は低下していた。